

課 題 分 析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>計算問題は全体的に段階を経て徐々に解けるようになってきている。用語の意味を本質的に理解できていないため、用語を使って説明することができない生徒がいる。根本的な理解が必要である。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>基礎的な内容の理解はあるものの、応用的な内容に対しての苦手意識が見受けられる。また、文章問題などやや複雑な問題に対して、読解不足により、式が立てられない生徒もいる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>全体的に学習に対する関心・意欲は高く、基礎的な内容の理解はある。困っている周りの生徒に教える生徒も多々見受けられる。しかし、与えられた課題だけで満足する生徒や基礎的基本的な計算力が身につけていないためにつまずいてしまう生徒もいるため、個に応じた指導が必要である。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p>計算コンテストに向けて、基礎的基本的な計算力の確認を日々積み重ねていく。しかし、計算等演習を積み重ねるだけでなく、生徒自身に用語や過程等、根本的に内容を理解させていくために、大事な用語は繰り返し確認しながら説明する。また、生徒同士にも<u>数学の用語を使い、自分で説明させ合う</u>ことで理解の定着を目指す。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>問題演習を繰り返し行ない、自分の苦手とする部分を克服させていくことで苦手意識の改善を図る。また、<u>感染症対策を行い、発表の場を設けることにより、他者に自分の解法を説明させる</u>ことで多くの考え方を身に付けさせる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>まずは計算の基礎基本を丁寧に指導する。さらに、<u>アクティブラーニングは、感染症対策に注意して、回数や時間を工夫しながら実施する</u>。授業の内容を理解させることで学習に対する意欲を持続させる。</p>